

造形表現Ⅱ	2年 前期			演習2単位	担当教員名	石 森 小 緒 里
	卒選	幼選	保選			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ：保育現場の実際指導にそのまま役立つ教材作り ② 目標 ・ 幼児にとってダイナミックで自由な造形活動が展開できる教材作りをイメージし、創意工夫を行う。 ・ 保育実習で実際に活用できる教材をつくり、より積極的な実習体験ができるよう工夫する。						
授業の概要 保育士を志す立場としての明確な視点から「造形表現Ⅰ」で行った内容をさらに深め、幼児とより豊かな造形活動が展開できるよう、基礎的な造形能力を養う。						

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容		
1	造形的な表現の 発達と理解	○幼児の発達に配慮した援助をおこなうために		
2		○活動の留意点と評価について		
3	保育実習に向けて	○遊びを豊かにするプログラム (保育実習の実態を考慮し、環境や季節に合った造形遊び)		
4				
5				
6				
7	造形的な総合活動 (制作と表現)	○選択課題 (エプロンシアター、パネルシアター、大型スケッチブックシアター他) ※個人の実習計画の下、複数の制作可		
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20		○作品の発表と鑑賞		
21	造形基礎演習	○版 画 演 習 (紙版画、スチレン版画、ステンシル等)		
22				
23				
24				
25				
26				○触感素材 (紙粘土、小麦粉粘土、新聞紙+和紙等) を使った立体造形演習
27				
28				
29				
30				
定期試験	なし			
テキスト	「保育園・幼稚園の造形あそび」 鮫島良一・馬場千晶著 成美堂			
参考図書	適宜紹介する。			
教員の 評価方法	準備忘れ物状況を含めた授業態度 (20%)、課題に対しての制作意欲・創意工夫 (自己評価) を加味した作品からの評価 (80%) の総合で評価			
準備学習等 履修上の留意点	常に保育現場で活用することを意識して課題制作に取り組むこと。又、各自の実習予定と照らし合わせ制作を進め、提出期日は厳守すること			